

依頼表現の日中対照研究——相手に応じた表現選択——

相原 まり子

要旨

This paper analyzes how forms of requests in Japanese and Chinese are affected by the following two factors: the familiarity between the speaker and the addressee (F) and the relative status of the addressee (S). The data analyzed in this study is collected through a questionnaire survey. The result shows that the places where the effects of F and S appear clearly are “types of benefactives” and “the use of honorific forms” in Japanese, whereas they are “types of sentences” (“indirect type” or “direct type”) and “the use of expressions representing admission of impingement” in Chinese.

キーワード：依頼表現，日中対照研究，ポライトネス，親疎，地位

1. はじめに

本稿の目的は、相手との親しさと相手の地位が、依頼表現にどのように反映されるのかという点について、日本語と中国語のそれぞれの特徴を明らかにすることである。本研究は一種のポライトネス研究と位置づけることができると思う。Brown & Levinson (1987) のポライトネス理論に従えば、「ポライトネス」とは、相手のフェイス¹⁾を脅かさないう配慮することであるが、本稿は、相手によって「ポライトネス」の表し方がどのように変化するのかという点に注目して、日本語と中国語を比較するものである。筆者の調べた限り、これまでの中国語の研究では、相手との親しさや相手の地位が依頼表現にどのように影響を及ぼすのかということについては詳しい考察がなされておらず、研究の余地が多く残されている。日本語については、次章で述べるように本稿と同じような観点で分析している先行研究もあるが、中国語と比較することによって日本語の特徴がはっきり見えてくるのではないかと考え、日中対照分析を行うことにした。

2. 先行研究

日本語の依頼については、外国語との比較も含めて様々な視点から研究がなされているが(井出(1986)、橋元(1992)、大倉(2000)など)、要因別に表現の使い分けを詳しく分

析したものには、岡本(1988、1990)がある。岡本(1990:45-49)は、要求表現(本稿の依頼表現に相当)と勧め表現を連続的なものと捉えた上で、コストによる使い分けと相手による使い分けの違いを指摘し、コストによる使い分けには表現の間接化が関与する度合いが大きく、相手による使い分けには敬語の使用が関与する度合いが大きいと分析している。一方、中国語については、永江(2005)が、依頼・命令を表す文に「给我」が使われる場合と「帮我」が使われる場合とを比較し、中国北方の話者には相手による「给我」と「帮我」の使い分けが見られることを報告している。また、王(2006)は、日本人と中国人の依頼発話のストラテジーを比較しており、依頼発話の中核部分(本稿で依頼表現と呼ぶもの)については、中国人は日本人よりも相手に応じて直接的方略と間接的方略とを使い分ける傾向が強いことを指摘している。但し、同論文は、依頼の中核部分の表現を細かく分析することを目的としたものではない。また、若生・神田(2000)は、依頼表現の丁寧度をランク付けしているが、調査においては場面も相手も種類しか設定しておらず、同論文の調査結果からは相手による使い分けがどのようになされるかはわからない。

3. 調査内容

3. 1 調査方法と調査の時期

依頼場面を設定した質問紙(日本語版と中国語版)を、日本語母語話者と中国語母語話者に配り、どのように言うかを記述してもらうという方式をとった。質問紙の配布と回収は2002年3月から5月の間に行った(個々の質問の文面は論文末に添付)。

3. 2 インフォーマント

日本語母語話者のインフォーマントは東北大学の学生51人、中国語母語話者のインフォーマントは、中国中山大学の学生25人と日本の大学(東北大学、京都教育大学)に所属する留学生24人で、合計49人である(表1参照)。

表1 インフォーマント

		日本語母語話者(51人)	中国語母語話者(49人)
性別	男	28人	24人
	女	23人	25人
年齢		平均23.9歳(19歳～30歳)	平均25.9歳(20歳～31歳)
今までで最も長く住んだ地域(後の数字は人数)		東北28、関東11、中部5、関西3、北海道1、北陸1、九州1、中国1	広東省8、吉林省4、遼寧省4、山西省4、福建省4、内モンゴ3、北京3、広西省2、湖南省3、陝西省2、江蘇省2、上海2、山東省2、黒龍江省1、甘肅省1、雲南省1、河南省1、湖北省1、江西省1

3. 3 設定した依頼相手・依頼内容

依頼する相手の設定は表2に示した通りである。相手との親しさ(2段階)と相手の地位(3段階)を組み合わせて、インフォーマントが自然に思い浮かべられる6種類の人物類型を設定した。

表2 依頼相手とその略記法

親疎	地位	具体的な人物設定	略記法
挨拶程度	上	会えば挨拶をする程度の間柄の教授	疎・上
	やや上	会えば挨拶をする程度の間柄の一、二歳上の先輩	疎・やや上
	同	会えば挨拶をする程度の間柄の同学年、同年齢の学生	疎・同
親しい	上	親しい教授	親・上
	やや上	親しい一、二歳上の先輩	親・やや上
	同	同学年、同年齢の親しい友達	親・同

依頼内容は、「写真を撮ってもらおう」というものにした。この依頼内容であれば、インフォーマントが、表2に示した相手すべてに依頼する可能性があると考えたからである(但し、この相手には頼まない、頼めないと思う場合は、そのように書くよう指示した)。場面設定は自然さを考慮に入れ、「卒業式の日、校門の前で、誰かに頼んで何人かで記念撮影をしたいという時に、表2の人物が偶然通りかかった」という場面にした。

3. 4 各相手への依頼回避率

各相手に対する依頼回避率を表3に示した。日本語話者でも中国語話者でも、上(特に疎・上)に対する依頼を回避する人が多いが、回避率は日本語話者のほうが高い。

表3 依頼回避率(%)

	親・同	親・やや上	親・上	疎・同	疎・やや上	疎・上
日本語話者	0	2	33.3	2	9.8	58.8
中国語話者	0	0	6.1	0	2	18.4

4. 分析

4. 1 分析対象と分析の視点

依頼発話には、依頼の中核となる表現だけではなく、呼びかけ、詫び、挨拶、都合伺いなど、様々な前置きの要素が現われるが²⁾、本稿ではこういった前置きの要素は分析対象とせず、依頼の中核となる表現のみを分析する。例えば、以下の例では下線部を依頼の中核となる表現と見なし、「依頼表現」と呼ぶ。

(1) ××老师, 您好, 能不能帮我们照一张相?
 ××teacher hello can NEG can help 1pl take a CL photo
 「××先生、こんにちは、私達を手伝って写真を一枚撮ることができますか?(Lit.)」

(2) ○○先生、すみませんが、写真を撮っていただけませんか?

以下の節では、[1]文のタイプ、[2]受益表現のタイプ、[3]敬語の使用、[4]自由侵害を認める表現の使用、という四つの視点から、依頼表現の形式が相手との親しさや相手の地位によってどのような影響を受けるのかということ考察する。

○グロスに使用する略語

CL：類別詞、MA：疑問の語気助詞、BA：推量・命令などを表す語気助詞、

NEG：否定語、pl：複数、sg：単数、H：敬語、N：非敬語

4. 2 文のタイプ

4. 2. 1 分類方法

両言語の依頼表現を、直接的か間接的かという視点から二つのタイプに分類し、それぞれ「直接依頼文」、「間接依頼文」と呼ぶ。日本語の分類は表4に、中国語の分類は表5に示した。この分類方法は、Blum - Kulkaら(1989:18)を参考にしたものであるが、Blum - Kulkaら(1989)は、間接的な方略を慣習化されているか否かを基準にさらに下位分類しており(慣習化されていないものを「ヒント」と呼ぶ)、その点は異なる。

表4 日本語の分類

		質問紙調査で得られた表現の一部
直接 依頼 文	命令形で終わる文	「写真撮ってください」、「写真撮ってくれ」 「シャッター押して下さい」
	モダリティ未定の省略 形式が固定化した文	「写真撮って」、「ちょっと写真撮って」 「一枚撮って」、「写真撮ってよ」
	明示的遂行文	「写真を一枚お願いします」
	間接 依頼 文	肯定疑問文 「写真撮ってくれる?」、「写真とってもらえる?」 「ちょっと写真撮っていただけますか?」 「写真撮ってもらってもよろしいですか?」 「写真撮ってもらっていい?」 「シャッター押してもらっていいですか?」 「写真お願いできるかな?」

	否定疑問文	「写真撮ってくれない?」、「写真撮ってもらえない?」 「ちょっと写真撮ってもらえませんか?」 「写真撮っていただけませんか?」 「シャッター押してくれない?」 「シャッター押していただけないでしょうか?」
	願望叙述などの言いさし表現	「写真撮ってほしいんだけど」 「写真撮ってくれると助かるんだけど」

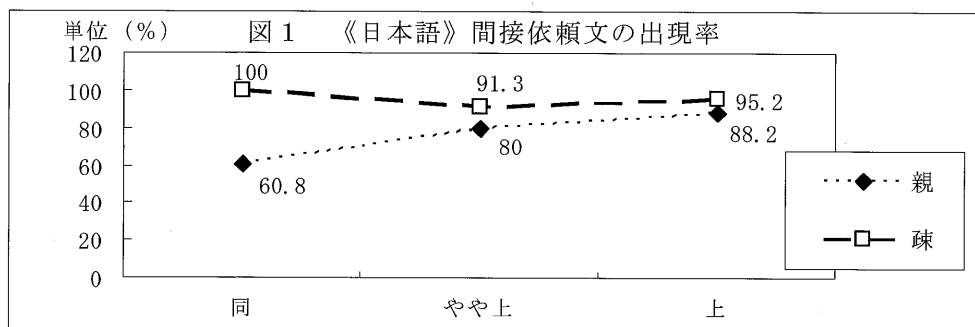
表5 中国語の分類

		質問紙調査で得られた表現の一部
直接 依頼 文	命令文 (祈使句)	“帮 我们 照 一张 相”, “给 我们 照 个 相” help 1pl take a CL photo, for 1pl take CL photo “帮 我们 照 一张 吧!”, “请 帮 我们 照 一张 相” help 1pl take a CL BA request help 1pl take a CL photo
間 接 依 頼 文	末尾に“価値判断のモダリティ形式+吗”をつける疑問文	“请 您 帮 我们 拍 张 照片, 可以吗?” request 2sg.H help 1pl take CL photo OK MA “帮 我们 照 张 相, 好 吗?”, “给 我们 照 一张 相, 行 吗?” help 1pl take CL photo OK MA for 1pl take a CL photo OK MA
	“可能の助動詞+VP+吗”型の疑問文	“能 帮 我们 照 一张 相 吗?” can help 1pl take a CL photo MA “可以 请 您 帮 我们 照 张 相 吗?” can request 2sg.H help 1pl take CL photo MA “可以 麻烦 您 帮 我们 照 张 相 吗?” can bother 2sg.H help 1pl take CL photo MA
	“可能の助動詞+否定+可能の助動詞+VP”型の疑問文	“可 不 可以 帮 我们 照 一张 相?” can NEG can help 1pl take a CL photo “能 不 能 请 你 给 我 照 张 相?” can NEG can request 2sg.N for 1sg take CL photo “能 不 能 麻烦 您 给 我们 照 一张?” can NEG can bother 2sg.H for 1pl take a CL

4. 2. 2 分析

<日本語>

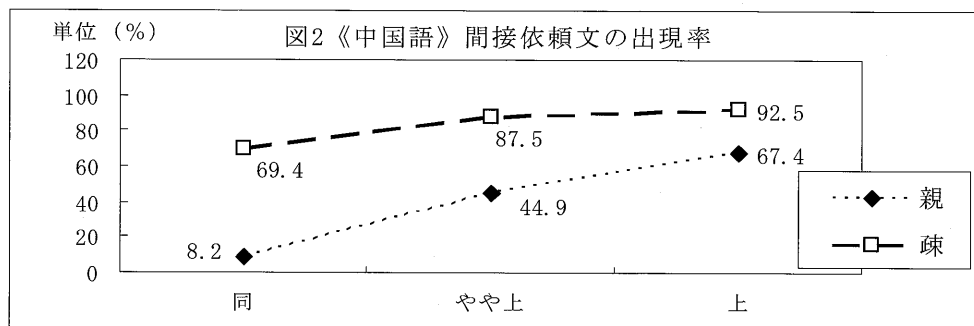
図1は、各相手への全回答における間接依頼文の出現率である。間接依頼文が100%であれば、直接依頼文は0%ということを示している。



「疎」に注目すると、どの相手でも間接依頼文の出現率が90%以上であり、地位による頻度の差はそれほど大きくない。一方、「親」では相手の地位が上がるにつれ、間接依頼文の出現率が緩やかに高まる。親疎の違いを見てみると「親」よりも「疎」で出現率が高いが、地位が上がるにつれ親疎差が小さくなる。

<中国語>

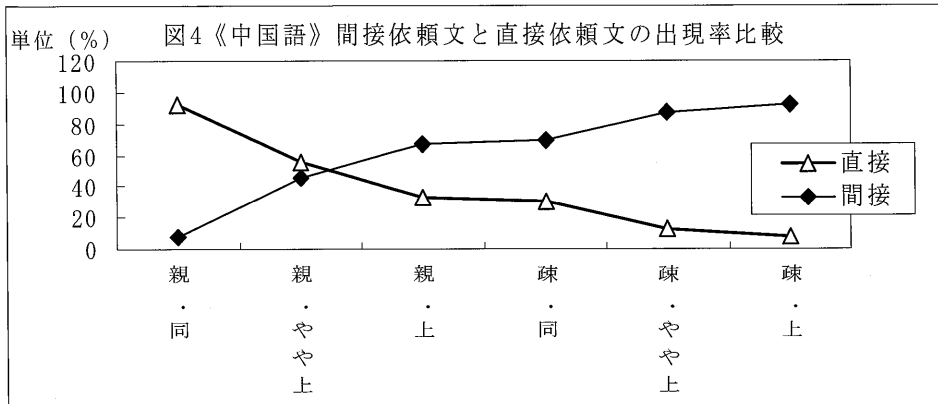
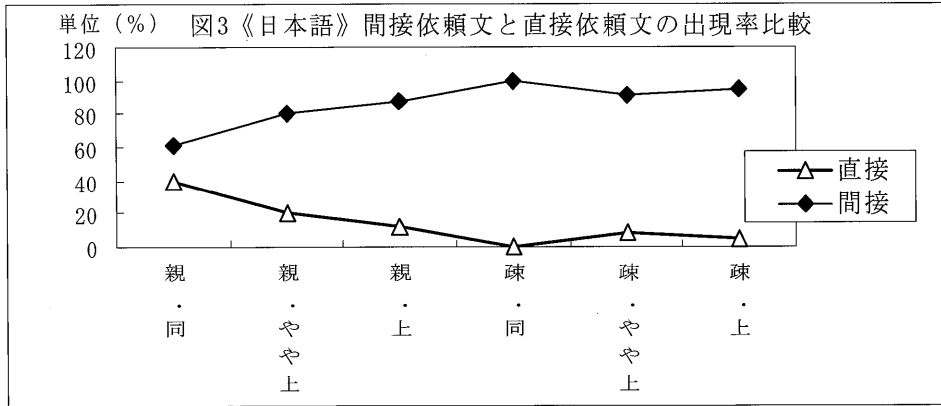
図2は、中国語の間接依頼文の出現率である。



「親」でも「疎」でも、地位が上がるにつれて間接依頼文が増える、つまり直接依頼文が減っていることがわかる。特に、「親」での増加率が高い。親疎を比較すると、どの地位でも間接依頼文の出現率は「親」よりも「疎」が高い。その差に注目すると、地位が上がるにつれて親疎の差が小さくなるが、「上」でも約25ポイントの差がある。

<日本語と中国語の比較>

図3と図4は、どちらのタイプの頻度が高いかを相手別に比較しやすくしたものである。



日本語では、両形式の比率は相手によって異なっているが、「親・同」においても、間接依頼文の出現率のほうが高く、相手に関わらず間接依頼文が多く現れている。これに対し、中国語では、「親・同」と「親・やや上」では直接依頼文の出現率が高く、それ以外の相手では間接依頼文の出現率のほうが高い。また、先に挙げた間接依頼文の出現率のグラフ(図1と図2)を比べてみると、親疎差も地位差も中国語のほうが大きい。したがって、中国語のほうが日本語よりも、直接依頼文を用いるか間接依頼文を用いるかの選択に、相手との親しさと相手の地位が深く関わっていると見えそうである。

4.3 受益表現のタイプ

本節では、話し手が利益を得ることを明示する表現を「受益表現」と呼び、相手の違いが受益表現の選択に与える影響を見ていく。

<日本語>

受益表現と見なせるものには、「もらう」、「くれる」、「いただく」、「くださる」の四つの授受動詞がある(可能動詞形の「もらえる」、「いただける」は、それぞれ「もらう」、「いただく」に含める)。これらの授受動詞は、「撮る」または「押す」という動詞が使われた回

答の93%に現れ、補助動詞として使用されていた。まず、これらの授受動詞の出現率が相手によってどのように変化するかを見ていく。

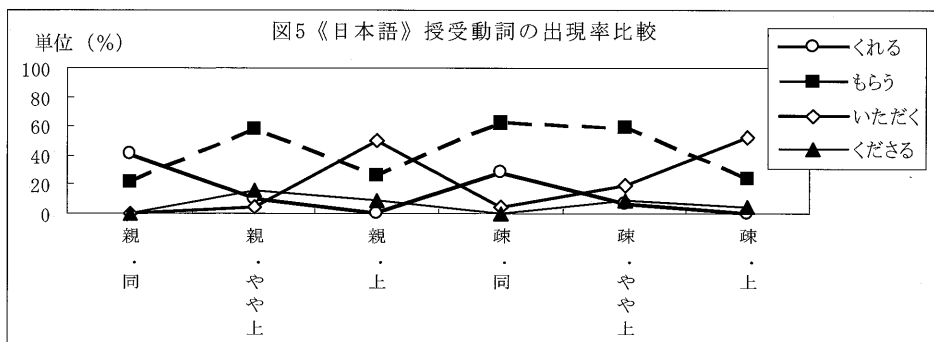


図5から、親疎に関わらず「上」では「いただく」が、「親・同」では「くれる」が、それ以外の相手では「もらう」が一番多く現れることがわかり、どの授受動詞を使うかは相手の違いに大きな影響を受けると言ってもよいと思われる。さて、「くれる」、「くださる」はどちらも聞き手(=利益の与え手)を主語とした表現であり、「もらう」、「いただく」は話し手(=利益の受け手)を主語とした表現である。「くれる」と「くださる」、「もらう」と「いただく」はそれぞれ敬語かどうかという点で対立しているが、敬語の問題は4.4で詳しく考察するので、本節では「くれる」と「くださる」を「与え手主語タイプ」に、「もらう」と「いただく」を「受け手主語タイプ」に分類し、両タイプの出現率が、相手の違いによってどのように変化するかを見る。

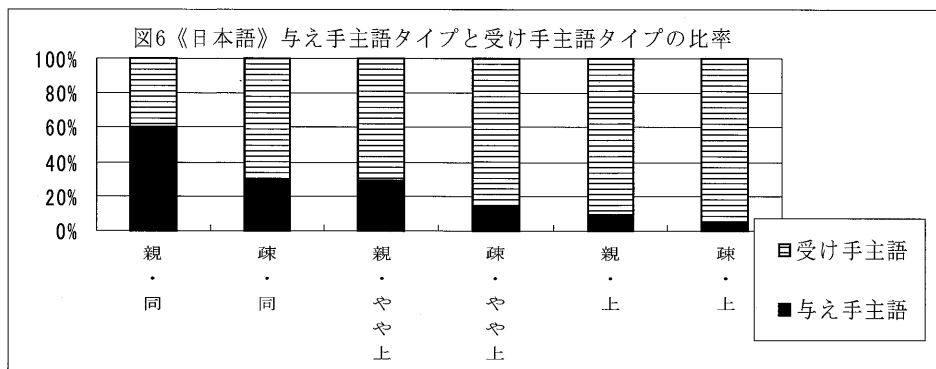


図6が示すように、「親」よりも「疎」で、また、地位が上がるにつれて受け手主語タイプの比率が高まる(すなわち、与え手主語タイプが減る)。従って、相手との親しさも相手の地位も受益表現の選択に大きな影響を与えているということができよう。

<中国語>

中国語では、受益表現と見なせるものに以下の4タイプが現れた。

- ・“帮+NP(一人称代名詞)” (185例)
- ・“给+NP(一人称代名詞)” (61例)※NPが現れない例ある
- ・“帮个忙+给+NP(一人称代名詞)” (4例)※NPが現れない例もある
- ・“帮忙” (13例)

これらの表現は、受益を表す専用形式というわけではないが、少なくとも依頼表現に使われた場合には、話し手が利益を得ることを明示する機能をもつと見なせる。本調査では、「写真を撮る」という意味の動詞が用いられている回答の98.5%にこの四つの表現のいずれかが使われていた。実際の使用例を以下に示す。

- (3) 帮 我 照 张 相 吧。
 help 1sg take CL photo BA
- (4) 给 我们 拍 一 张 照片, 好 吗?
 for 1pl take a CL photo OK MA
- (5) 请 帮个忙 给 我们 拍 张 合影。
 request help for 1pl take CL group.photo
- (6) 帮忙 照 张 相, 好 吗?
 help take CL photo OK MA

図7は、以上の四つの受益表現の出現率を示したものである。

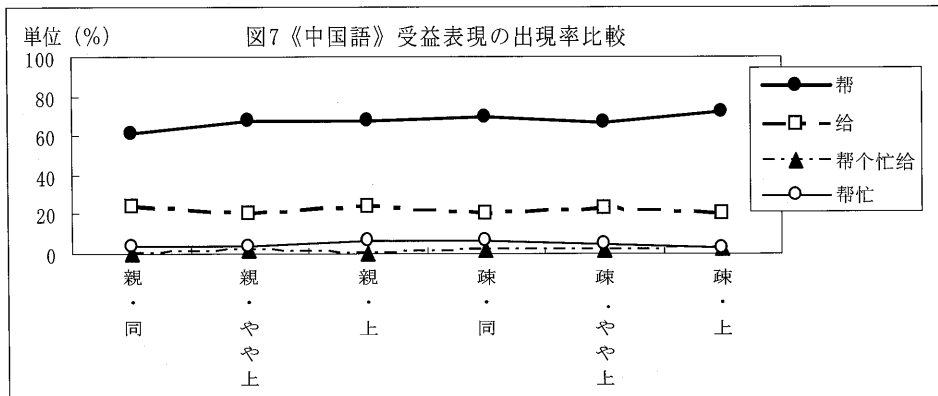


図7から、相手が変わっても各受益表現の出現率はほとんど変わっていないことがわかる。“帮+NP”の出現率がどの相手においても最も高く、“给(+NP)”が次で、“帮忙”、“帮忙+给(+NP)”は非常に少ない。以下では、出現頻度の高い“帮+NP”と“给(+NP)”を取り上げ、もう少し詳しく見ていく。

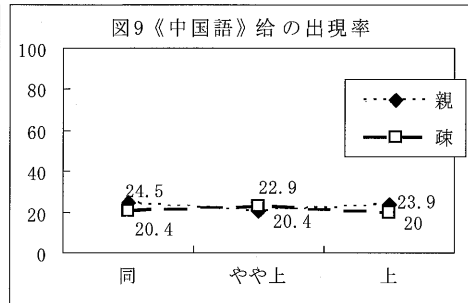
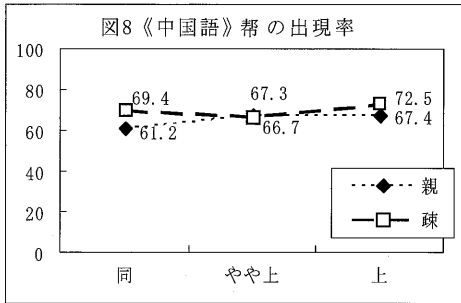


図8を見ると、“帮+NP”の出現率は、「疎」よりも「親」がやや低いが僅かの差である。「親」では地位が高くなるにつれて若干出現率が高くなるが、「同」と「上」の差は僅か6.2ポイントである。“给(+NP)”の出現率は、図9が示すように「同」と「上」では「疎」よりも「親」が僅かに高く、「やや上」では「親」よりも「疎」が僅かに高いが、どれも5ポイント未満の差である。従って、本調査の結果は、親疎と地位は“帮+NP”と“给(+NP)”の出現率にそれほど大きな影響を与えないということを示していると言える。但し、これは、永江(2005)の調査結果と異なるものである。同論文は、“帮我”、“给我”、“何も使わない」という三つの選択肢を用意し、どれが最も適切かを問う調査を行い、その結果、北方の話者の場合、親しい友人にドアを開けることを要求する場面よりも、先生に窓を開けることを要求する場面のほうで、“给”が選択される割合が下がり、“帮”が選択される割合が上がったことを報告している(但し、どちらの相手にも“帮”を選択する人が多い)。これに対し、本稿の調査では、北方の話者³⁾25人に限っても、はっきりした使い分けは見られず、親しい友達への依頼で“给”を使った人は10人、挨拶する程度の間柄の教授への依頼では8人であり、その差は2人だけである。なぜ異なる結果が出たのかについては様々な原因が考えられるが、一つの原因として依頼内容の違いがあると思われる。永江(2005:200)は、「本来自分がすべき行為を「かわりにする」ように相手に要求する」場合について相手による使い分けが見られたとしているが、本稿が設定した「自分たちの写真を撮ることを他の人に頼む」という依頼は、本来自分がすべき行為を代わりにするよう要求しているというわけではない(「自分たちの写真を撮る」という行為は、自動シャッターでも使わない限り、誰かに頼む必要がある行為である)。“帮”と“给”が相手によって使い分けられるかどうかは依頼内容に深く関係していると予測されるが、詳しい考察は今後の課題としたい。

<日本語と中国語の比較>

日本語では、図6が示すように、与え手主語タイプの授受動詞を使うか受け手主語タイプの授受動詞を使うかという選択に相手との親しさと相手の地位が大きな影響を与える。これに対し、中国語の各受益表現の出現率は、図7から図9が示すように相手が変わっても大きな変化は見られず、本調査で設定した依頼場面については、相手の違いは受益表現の選択にほとんど影響を与えていないと言ってよいと思われる。

4. 4 敬語の使用

<日本語>

本節では、敬語形の動詞が使われているか、敬体が使用されているか、という二点に注目して、相手の違いが敬語の使用に与える影響を考察する。敬語形の動詞が使われている文というのは、(7)、(8)のような補助動詞が謙譲語形「いただく」または尊敬語形「くださる」になっている文、(9)のような動詞を謙譲語形にした文である。

(7) 写真撮っていただけますか？

(8) 写真撮ってください。

(9) 写真お願いしていいですか？

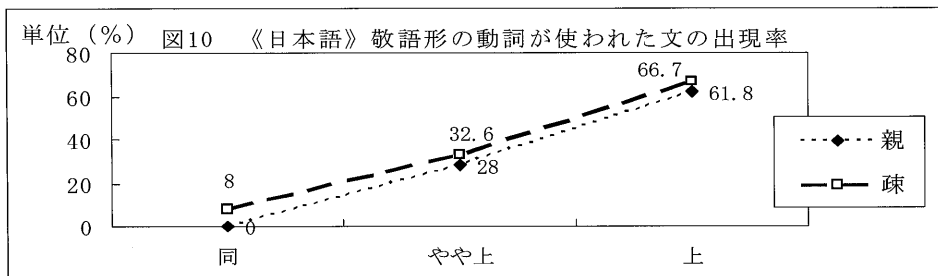
敬体の文とは「です」、「ます」が使われた(10)から(12)のような例を指す⁴⁾。

(10) 写真撮ってもらえませんか？

(11) 写真撮っていただけますか？

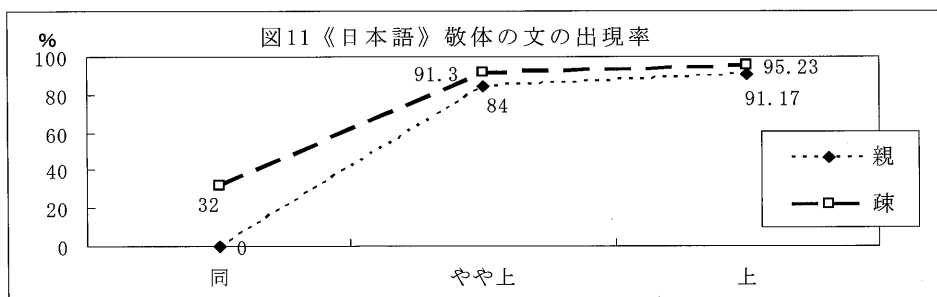
(12) 写真撮ってもらってもいいですか？

最初に、図10で敬語形の動詞が使われている文の出現率を見よう。



「親」でも「疎」でも、地位が上がるにつれ、敬語形の動詞が使われた文の出現率が高くなっている。親疎の差を見てみると「親」よりも「疎」が高いが、その差は僅かである。従って、敬語形の動詞を使うか非敬語形の動詞を使うかの選択には親疎も地位も関係しているが、どちらかというと地位の方が深く関係していると言えそうである。

次に図11で敬体の文の出現率を見ていく。



「親」でも「疎」でも地位が上がるにつれ、敬体の文の出現率が高まる。特に「同」と「やや上」の差が大きい。親疎の差を見てみると「親」よりも「疎」の出現率が高いが、地位が上がるにつれて親疎の差は小さくなる。従って、敬体と常体の選択には親疎も地位も関係しているが、特に「同」においては親疎が大きく影響すると言えるだろう。

<中国語>

中国語には、日本語のような体系的に発達した敬語はないが、二人称単数の代名詞には“你”と“您”の二種類があり、“您”は敬意を含む表現とされている(呂叔相(1999)、刘月华ほか(2002))。以下では、二人称代名詞に“您”が選ばれる割合を見ていく。

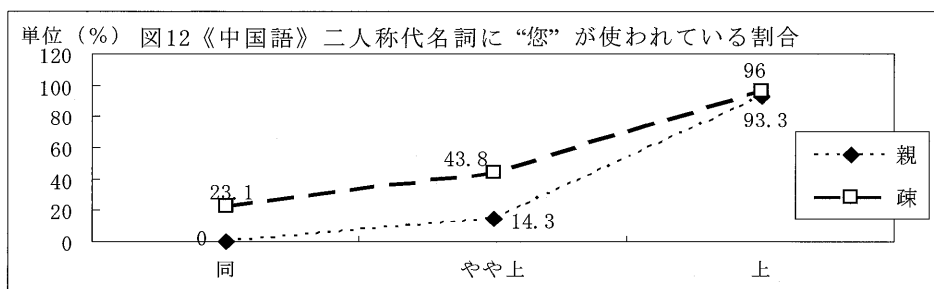


図12は二人称代名詞の出現数に対する“您”の出現数の割合を示しており、地位が上がるにつれ“您”の占める割合が高まることがわかる。親疎の違いに注目すると「上」では親疎の差は殆ど見られないが、「同」と「やや上」では「親」よりも「疎」のほうが“您”の占める割合が高い。但し、中国語の依頼表現には二人称代名詞が使われないことも多く、二人称代名詞の出現率は、相手によっても異なるが⁵⁾、最も高い場合でも60% (疎・上)、最も低い場合は4.1% (親・同)である。全回答数に対する二人称代名詞が使われた回答の割合は27.8%であり、二人称代名詞が現われない回答が約7割を占める。

<日本語と中国語の比較>

相手との親しさと相手の地位が敬語の出現率を大きく左右するという点は日本語も中国語も同じだが、中国語では二人称代名詞が現れない回答が多く、すなわち敬語形と非敬語形の選択自体が起こっていないケースが多い。

4. 5 自由侵害を認める表現の使用

中国語の回答には、次の(13)から(16)に挙げたような表現が現れた。(13)の“麻烦～…”は「～に面倒をかけて…させる」、(14)の“拜托～…”は「～に…するのを願う」、(15)の“请～…”は「～に…するのを頼む」という意味の動詞であり、どれも相手の自由を侵害することを率直に認める表現である。(16)の“请”は、動詞ではなく丁寧標識化したものとも捉えられるが、本稿では(15)と同様に、相手の自由を侵害することを認める表現だと見なす。

- (13) 可以 麻烦 你 帮 我们 照 张 相 吗?
 can bother 2sg.N help 1pl take CL photo MA
- (14) 能 拜托 您 给 我们 拍 张 照片 吗?
 can request 2sg.H for 1pl take CL photo MA
- (15) 能 请 您 给 我们 拍 张 照片 吗?
 can request 2sg.H for 1pl take CL photo MA
- (16) 请 帮 我们 照 张 相。
 request help 1pl take CL photo

Brown & Levinson (1987) は、“Admit the impingement” (自由侵害を認める) をネガティブポライトネス方略の一つと見なし、(17)、(18)のような例を挙げている(同書:188)。

(17) I'm sure you must be very busy, but...

(18) I'd like to ask you a big favour:

この方略は、話し手が聞き手のネガティブフェイス(=自分の領域に踏み込まれたくないという欲求)を侵害することを素直に認めることによって、聞き手への配慮を表すというものであり、中国語では(13)から(16)がこれに当てはまると思われる。

一方、日本語では、「自由侵害を認める表現」に当てはまるものとして、「お願いする」、「頼む」などの動詞が使われている例があったが、全回答数の6%であり、相手による偏りもほとんど見られなかったため、以下では中国語の結果のみを提示する。

図13は、中国語の「自由侵害を認める表現」の出現率を示したものである。

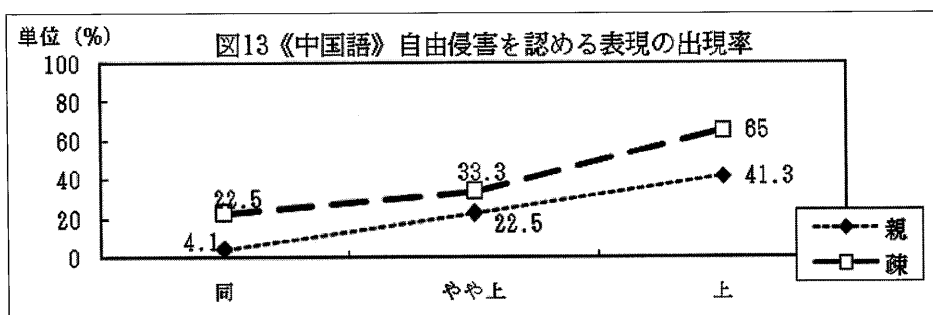


図13が示すように、「自由侵害を認める表現」は、相手の地位が高くなるほど、また、親よりも疎において出現率が高くなる。これらの表現を使用するかどうかは、相手との親しさ、相手の地位に大きく影響されると言えるだろう。

5. まとめと考察

5. 1 まとめ

[1]文のタイプ

日本語では、直接依頼文と間接依頼文の比率は変化するものの、どの相手においても直接依頼文よりも間接依頼文の出現率が高かったのに対し、中国語では、相手によって間接依頼文を使うか直接依頼文を使うかがはっきりしている。この結果は、中国語のほうが、相手との親しさや相手の地位が、間接依頼文を使うか直接依頼文を使うかという選択に大きな影響を与えるということを示している。

[2]受益表現のタイプ

日本語では、受け手主語タイプの授受動詞(「もらう」、「いただく」)と与え手主語タイプの授受動詞(「くれる」、「くださる」)の選択は、相手との親しさと相手の地位に大きく影響される。一方、中国語の各受益表現(帮+NP、给(+NP)など)の出現率は、相手が異なっても大きく変わることはなく、受益表現の選択には親疎や地位の影響がほとんど見られなかった。

[3]敬語の使用

日本語では、相手との親しさと相手の地位が敬体か常体かの選択に大きな影響を及ぼし、相手の地位が敬語形動詞と非敬語形動詞の選択に深く関係している。一方、中国語では、相手との親しさと相手の地位が、二人称代名詞(“你”と“您”)の選択に大きな影響を与えるものの、二人称代名詞が使用された回答が少なく、その選択自体が起こっていないケースが多い。

[4]自由侵害を認める表現の使用

中国語では、相手の地位が上がるほど、また、「親」よりも「疎」で、“麻烦你/您…”や“请(你/您)…”などの「自由侵害を認める表現」の出現率が高くなる。日本語の依頼表現にも「お願いする」、「頼む」などが現われるが、そのような動詞が使われている例は全回答の僅か6%であり、相手による偏りも見られない。

5. 2 考察

最後に、本調査で得られた以上の結果について、その背景を考察したいと思う。Brown & Levinson (1987) のポライトネス理論に従えば、「間接依頼文の使用」、「敬語の使用」、「自由侵害を認める表現の使用」は、どれも相手のネガティブフェイス(以下NegFと呼ぶ)に配慮した方略、すなわち、ネガティブポライトネス方略である。「受け手主語タイプの授受動詞の使用」については、同書はネガティブポライトネス方略に入れていないが、大倉(2000:220)が既に指摘しているように、受け手主語タイプ(=依頼主が主語)の「もらう」、「いただく」を使った文は、相手の行為に直接は言及していないという点において、与え手主語タイプ(=依頼される側が主語)の「くれる」、「くださる」

を使った文よりも相手に配慮した表現である。では、相手のどの側面に配慮しているかと言えば、やはり、自分の領域を侵されたくないというNegFに対してであり、「受け手主語タイプの授受動詞の使用」も、一種のネガティブポライトネス方略であると言えるだろう。以下では、このような視点から調査結果の解釈を試みる。

文のタイプに見られた日中の違い、すなわち、日本語ではどの相手にも「間接依頼文」を使用する傾向が強いのに対し、中国語では「親・同」に対しては圧倒的に「直接依頼文」を使用する傾向が強く、「疎・上」に対しては「間接依頼文」を使う人が大部分を占めるといふ結果は、日本語社会ではどの相手に対する依頼でもNegFに配慮することが必要とされるのに対し、中国語社会では相手との距離（親疎、地位の両面）が遠い場合に、初めてその必要が出てくるということを示しているように思われる（但し、相手が見知らぬ人の場合、相手が行う行為を行うことが当然な場合、緊急の場合などは、必ずしもそうではないと予測される）。裏を返せば、日本語社会では親しい同地位の相手に対しても自分の領域を侵されたくないという欲求が強く働くのに対し、中国語社会では親しい相手に自分の領域を侵されることにそれほど抵抗がないのかもしれない。王(2006:55)も、日本語話者が相手に関わらず「間接的な依頼」を行う傾向が強いことを指摘し、さらに「全体的にはネガティブポライトネスの使用を好む傾向があるという特徴が見られる」と述べている。また、筆者のこれまでの経験に照らしても、日本語話者は中国語話者が直接依頼文を使って依頼を行うような場面でも、間接依頼文を好んで使う傾向があるように思う。つまり、日本語社会では、相手に関わらず間接依頼文を使ってNegFに配慮することがベースであり、相手との距離が遠い場合は、そのベースに加えて、受け手主語タイプの授受動詞を使用したり、敬語を用いたりしてさらにNegFへの配慮を示すことが必要とされるのに対し、中国語社会では、親しい同地位の相手に対する依頼ではNegFへの配慮はそれほど必要とされず、相手との距離が遠い場合には、間接依頼文にしたり、自由侵害を認める表現を使ったりしてNegFへの配慮を示す必要があるのだと思われる。

6. 結論と今後の課題

本稿の調査結果は、相手との親しさと相手の地位は日本語でも中国語でも依頼表現の形式に影響を与えるが、日本語と中国語はその影響の現れ方が異なっており、日本語では「受益表現のタイプ」と「敬語の使用」に、中国語では「文のタイプ(間接依頼文か直接依頼文か)」と「自由侵害を認める表現の使用」にはっきり現れるということを示している。

今後の課題としては、依頼の負担度及び相手が行う行為を行う必然性を考慮に入れて複数の依頼場面を設定し、本稿の結論がどこまで一般化できるのかということを検証することが残されている。また、「依頼相手」が家族の場合や見知らぬ人の場合に日本語と中国語ではどのような違いが見られるのかということも明らかにする必要があると思わ

れる。

付記：本稿は2003年に東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻に提出した論文に加筆・修正を加えたものである。

付録：質問の内容(紙幅の都合上、前書きや本稿で分析対象としていない質問は省いた)

(i) 日本語

- ①卒業式の日、大学の門の前で、誰かに頼んで数人で記念撮影をしたいというときに、ある教授がこちらにやってくるのが見えました。その教授とは、それほど親しいわけではなく、会えば挨拶をする程度の間柄です。その教授に写真をとってくれるよう頼むなら、どのように言いますか。
- ②卒業式の日、大学の門の前で、誰かに頼んで数人で記念撮影をしたいというときに、一、二歳年上の先輩がこちらにやってくるのが見えました。その人とはそれほど親しいわけではなく、会えば挨拶をする程度の間柄です。その人に写真を撮ってもらうなら、その人に対してどのように言いますか。
- ③卒業式の日、大学の門の前で、誰かに頼んで数人で記念撮影をしたいというときに、同学年の同じ年齢の学生がこっちにやってくるのが見えました。その人はあなたの友達の友達ですが、会えば挨拶をする程度で、それほど親しいわけではありません。その人に写真を撮ってもらうなら、その人に対してどのように言いますか。
- ④卒業式の日、大学の門の前で、誰かに頼んで数人で記念撮影をしたいというときに、あなたの親しくしている教授がこちらにやってくるのが見えました。その人に写真をとってくれるよう頼むなら、どのように言いますか。
- ⑤卒業式の日、大学の門の前で、誰かに頼んで数人で記念撮影をしたいというときに、あなたの親しくしている一、二歳年上の先輩がこちらにやってくるのが見えました。その人に写真を撮ってもらうなら、その人に対してどのように言いますか。
- ⑥卒業式の日、大学の門の前で、誰かに頼んで数人で記念撮影をしたいというときに、あなたの親しい友達がこちらにやってくるのが見えました。その友達はあなたと同じ年齢で同学年です。その人に写真を撮ってもらうなら、その人に対してどのように言いますか。

(ii) 中国語

- ①毕业典礼的那天，你和几个人在校门附近想请别人照相。这时候有一个不太熟悉的教授走过来。平时你在路上遇到他(她)的时候，你打招呼，但是除了打招呼以外跟他(她)并没有什么交流。如果请他(她)照相的话，你会怎么跟他(她)说？
- ②毕业典礼的那天，你和几个人在校门附近想请别人照相。这时候有一个不太熟悉的比你高年级的学生走过来。(他(她)比你大一两岁)。平时你们在路上相遇的时候，打招呼，但是除了打招呼以外跟他(她)并没有什么交流。如果请他(她)照相的话，你会怎么跟他(她)说？

- ③毕业典礼的那天,你和几个人在校门附近想请别人照相。这时候有一个不太熟悉的跟你同年龄的同学走过来。他(她)是你的朋友的朋友。平时你们在路上相遇的时候,打招呼,但是除了打招呼以外跟他(她)并没有什么交流。如果请他(她)照相的话,你会怎么跟他(她)说?
- ④毕业典礼的那天,你和几个人在校门附近想请别人照相。这时候有一个很熟悉的教授走过来。如果请他(她)照相的话,你会怎么跟他(她)说?
- ⑤毕业典礼的那天,你和几个人在校门附近想请别人照相。这时候有一个很熟悉的比你高年级的学生走过来。(他(她)比你大一两岁)。如果请他(她)照相的话,你会怎么跟他(她)说?
- ⑥毕业典礼的那天,你和几个人在校门附近想请别人照相。这时候有一个好朋友走过来。他(她)是跟你同年龄的同学。如果请他(她)照相的话,你会怎么跟他(她)说?

註

- 1) Brown & Levinson (1987) は、「フェイス」を人間の基本的欲求と捉え、ポジティブフェイス(他者から理解されたい、賞賛されたいという欲求)とネガティブフェイス(自分の領域に踏み込まれたくない、邪魔されたくないという欲求)という二つのフェイスを想定している。
- 2) 日本語では「詫び」が最も多く現れ、次に「呼称」が多かった。中国語では「呼称」が最も多く、次に多いのが「挨拶」であった。
- 3) 本稿で、「北方の話者」としたのは、最も長く住んだ地方が、吉林省、遼寧省、黒龍江省、山西省、内蒙古、北京、陝西省、山東省、甘肅省、河南省の話者であり、全インフォーマント49人中25人を占める。なお、相手に関係なく“幫”を使っていたのは49人中17人であり、その内、北方の話者は6人であった。また、相手に関係なく“給”を使っていた人は3人であったが、すべて東北地方(遼寧省、吉林省)の男性である。
- 4) 「写真を撮ってください」のように尊敬語の命令形で終わっている文は敬体と見なしていない。
- 5) これは、二人称代名詞を伴う“麻烦您(你)”请您(你)”といった表現の出現率が相手の地位が上がるにつれ、また、親よりも疎で高くなるためである(これらの表現は4.5で取り上げる)。

参考文献

- 井出祥子ほか(1986)『日本人とアメリカ人の敬語行動』東京：南雲堂。
- 王英輝(2006)「日本人と中国人の「依頼」発話行為におけるストラテジー」東京大学総合文化研究科言語情報科学専攻 修士論文。
- 大倉美和子(2000)「依頼のポライトネス——日本の大学生とメキシコの大学生」国立国語研究所『日本語とスペイン語(3)』, 211-240. 東京：くろしお出版。
- 岡本真一郎(1988)「依頼表現の使い分けの規定因」『愛知学院大学文学部紀要』, 73-78.

- 岡本真一郎 (1990) 「要求と勧めの表現」『愛知学院大学文学部紀要』, 45-55.
- 永江貴子 (2005) 「祈使句における“帮”と“给”の選択について——台湾国語と普通話との比較から——」『中国語学』252号, 196-209.
- 橋元良明ほか (1992) 「婉曲的コミュニケーション方略の異文化間比較——9言語比較調査——」『東京大学社会情報研究所調査紀要』, 107-159.
- 若生久美子、神田富美子 (2000) 「中国語における依頼表現の丁寧度」『中国語学』247号, 294-310.
- 刘月华、潘文娉、故韡 (2002) 《实用现代汉语语法(增订本)》北京：商务印书馆.
- 吕叔湘 (1999) 《现代汉语八百词(增订本)》北京：商务印书馆.
- Blum-Kulka, S., House J., & Kasper G. (1989). Investigating cross-cultural pragmatics: an introductory overview. In S. Blum-Kulka, J. House & G. Kasper (eds), *Cross-cultural pragmatics: Requests and apologies*, 1-34. Norwood, NJ: Ablex.
- Brown, P. and Levinson, S. (1987) *Politeness: some universals in language usage*. Cambridge University Press.